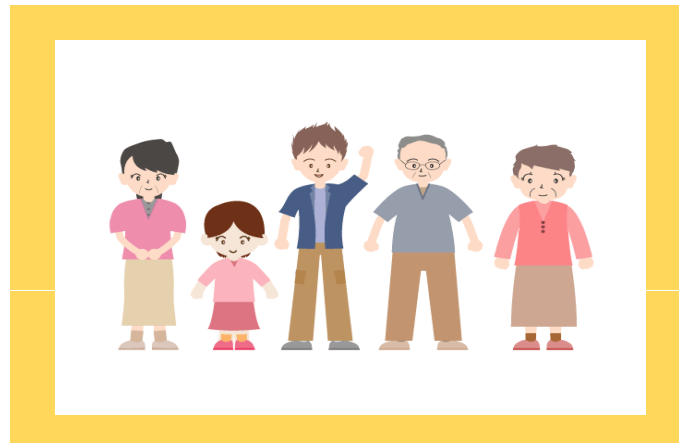
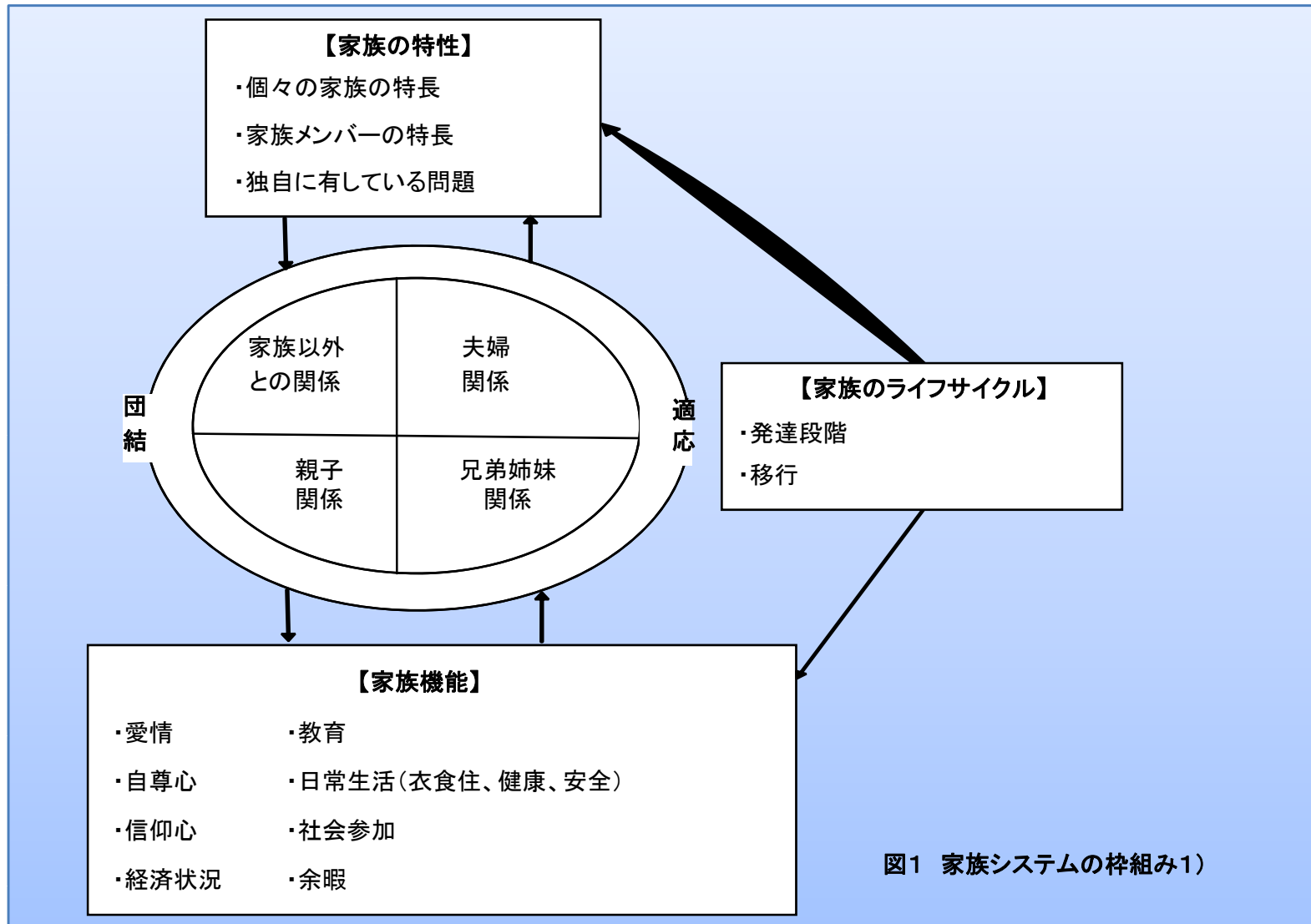


発達障害のある子どもの 家族への支援



国立特別支援教育総合研究所
柳澤 亜希子

1. 家族への支援の必要性



厚生労働省(2008) 「障害児支援の見直しに関する検討会報告書」

- (1) 家族を含めたトータルな支援
- (2) できるだけ子ども・家族にとって身近な地域における支援

家族支援の方策

- 心理的なケアやカウンセリング
- 養育の支援
- 家庭訪問による家族への相談
- 保護者同士の交流の促進
- きょうだい支援

中央教育審議会初等中等教育分科会(2012)

「共生社会の育成に向けたインクルーシブ教育
システム構築のための特別支援教育の推進(報告)」

(1) 早期からの教育相談・支援の充実

(2) 保護者との連携・支援

2. 学校(担任や支援者)が家族(保護者)に対して抱える悩み

ちゃんと子どものことを受け入れてほしい

どうして子どものために協力してくれないんだろう…

僕(私)なりに一生懸命やっているのに、何で伝わらないの？



学校だけでは、対応しきれない

3. 発達障害のある子どもの家族が抱える悩み

子どもにどのように接すればいいか、わからない

周りが子どものことや自分達のこと（気持ち）を理解してくれない

家族が、子どもの行動に振り回されて疲れてしまう

きょうだいのことが気がかり

将来が不安



(1) 保護者の障害受容

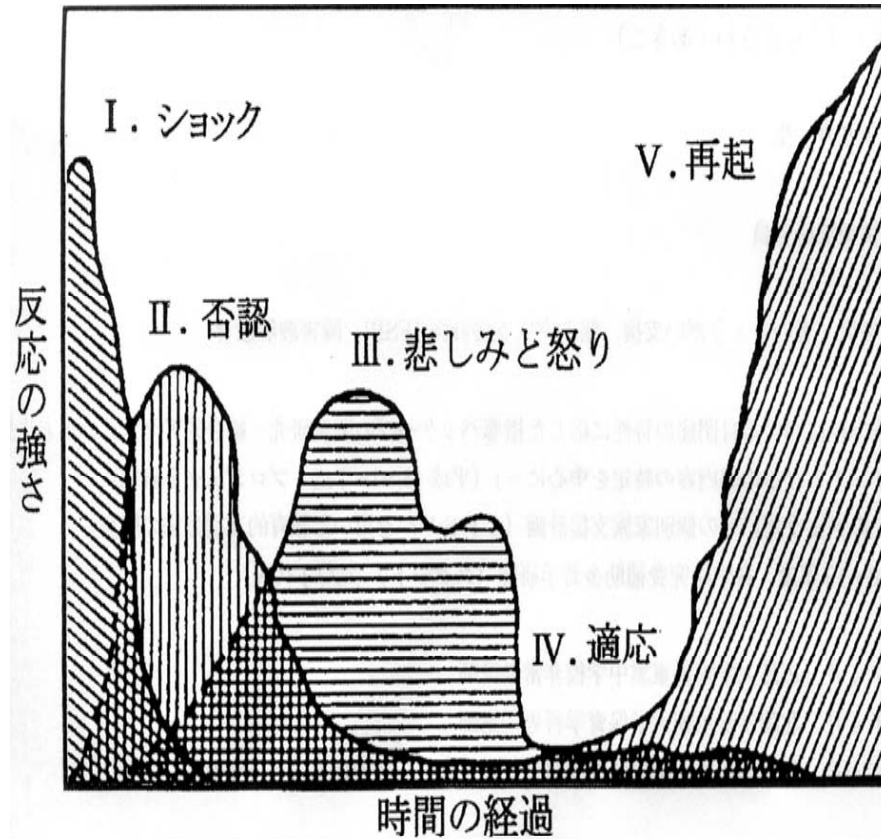


図2 先天性奇形の子どもの親の障害受容過程 (Droterら,1975) 2)

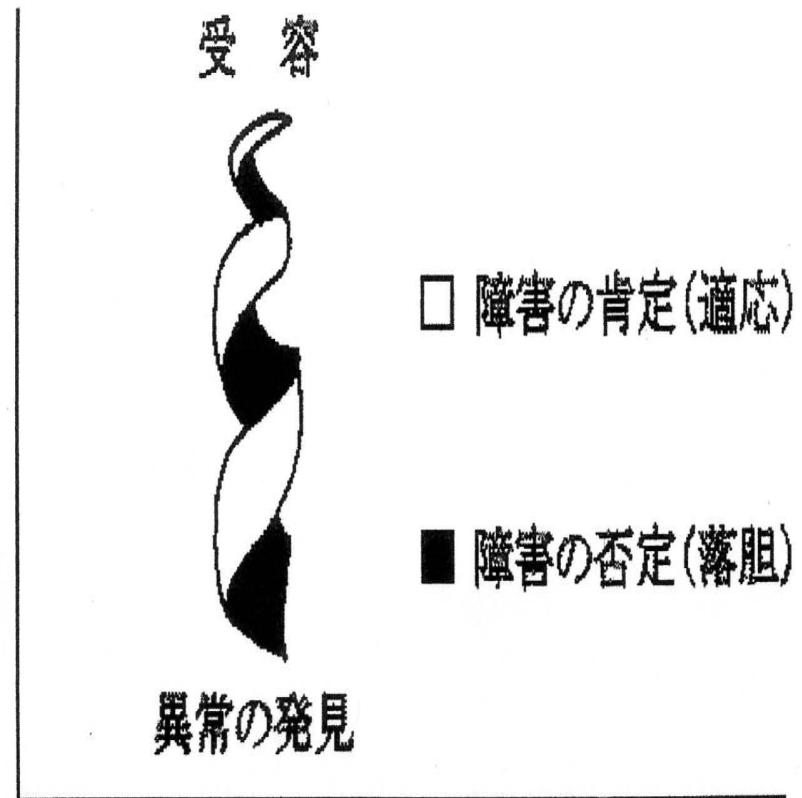


図3 障害受容の螺旋系モデル (中田洋二郎, 1995) 3)

(2) 発達障害のある子どもの 子育ての難しさ

子どもの行動面への理解と対応が難しい

(3) 周囲からの理解を得ることの難しさ

一見すると不可解な行動に対して周囲の理解や
配慮を得ることが難しい



子育てにおける焦りや自信喪失
地域からの孤立、将来への不安

4. 家族への支援

(1) 心理面への支援

① 家族が抱える悩みや不安等への相談

- ◆ 各地域に設置された発達障害者支援センターや相談機関(教育センター等)
- ◆ 当事者の会(親の会、きょうだい会等)
- ◆ ペアレント・メンター

4. 家族への支援

(1) 心理面への支援

② 家族(保護者)同士の交流

ネットワークづくりの場、ほっとできる場、気持ちを共有できる場

- ◆ 当事者の会(親の会、きょうだい会等)
- ◆ペアレント・メンター
- ◆ 校内での親学習教室

(2) 教育的支援

家族への情報提供

- 家族が発達障害のある子どもへの理解を深め、彼らに対応する力を養う
- 発達障害のある子どもとその家族の地域での生活を支える

障害や発達についての基礎的知識、発達障害のある子どもの行動のとらえ方と関わり方、地域資源、福祉サービス等



家族には、ライフステージに応じた情報を提供していくことが必要

5. 家族への支援で留意すべきこと

- 個々の家族によってニーズが異なる
- 子どもと家族を取り巻く状況(環境)を考慮する
- 家族が優先している問題に関わる支援を考える
- 家族が受け入れられる、また、実行できる支援を伝える
- 家族にわかりやすい表現や内容を用いる
- 家族のもつ力を強化する



家族への支援は、個別化される必要がある

出典

- 1) Turnbull, A.P., Summers, J.A., & Brotherton, M.J. (1984) Working Families with Disabled Members: A Family Systems Approach. University of Kansas, Kansas Affiliated Facility.
- 2) Drotar, D., Baskiewicz, A., Irvin, N., Kennell, J., & Klaus, M. (1975) The adaptation of parents to the birth of an infant with a congenital malformation : A hypothetical model. Pediatrics, 56(5), 710-717.
- 3) 中田洋二郎(1995)親の障害の認識と受容に関する考察－受容の段階説と慢性的悲哀－.早稲田心理学年報,第27号,83-92.

発達障害教育情報センター研修講義

発達障害のある子どもの 家族への支援

終わり

国立特別支援教育総合研究所

柳澤 亜希子



独立行政法人
国立特別支援教育総合研究所